

申請書記入例(おもて)

様式第3号(第3条関係)

別紙様式1-1

特定医療費(指定難病)支給認定申請書[更新]

患者 (受診者)	受給者番号	1	2	3	4	5	6	7				
	ふりがな	シガ タロウ							生年月日			
	氏名	滋賀 太郎							昭 64年 1月 1日(32才)			
	住所 (居住地)	〒520-8577 大津市京町4丁目○番○号 1番1号							連絡先 (電話)	077-528-○○○ □□□□		
	個人番号	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
加入医療 保険 (裏面も記入 してください)	被保険者氏名	滋賀 花子 太郎							患者と の続柄	配偶者 本人		
	保健種別	☒ 健保協会 ☐ 健保組合 ☐ 国保 ☐ 退職国保 ☐ 後期 ☒ 共済 ☐ 船員 ☐ 国							3			
	保険 者 名	〇〇共済組合 滋賀県支部				被保険者証 記号・番号				滋賀-1234567 〇〇〇-〇〇〇		
病名	〇〇〇〇、□□							4		疾病番号		
患者 が18 歳未 満の 場合	ふりがな								患者と の続柄			
	保護者氏名								連絡先 (電話)			
	保護者住所 (居住地)	〒										
個人番号												
自己負担上限額 の特例(該当するもの に☑)	☐	人工呼吸器等装着							☒	高額難病治療継続者		
	☒	軽症者特例							5			
(注)裏面の注意事項を参照してください												
他の指定難病での受給者証の支給の有無								有(受給者番号 6) ・ 無				
申請する患者と同じ世帯内で指定難病・小児慢性特定疾病の医療費助成を受けており、かつ同じ医療保険に加入する者の有無								有(氏名・受給者番号 滋賀二部 1234567) ・ 無				
指定難病の研究を推進するため、提出した臨床調査個人票を滋賀県知事が厚生労働大臣に提供し、指定難病等の治療研究等、指定難病に係る研究および政策を立案するための基礎資料として厚生労働大臣が利用することに同意します。【同意する場合のみ、記入してください。】								申請受付年月日				
令和7年 7月 1日 申請者氏名 滋賀 太郎												
令和7年 7月 1日								7				
申請者 住所 大津市京町4丁目1番1号												
氏名 滋賀 太郎 患者との続柄(本人)												
(宛先) 滋賀県知事								所在地情報の秘匿希				
望												

- 1 受給者証に記載の住所・氏名を印字しています。変更があった場合は訂正してください。
- 2 「*」の印字のない方は、原則、個人番号の記入
- 3 受給者証に記載の保険情報を印字しています。健康保険証が変わっている場合は、訂正をしてください。
- 4 複数の疾病で認定を受けている方は全ての疾病名を記入してください。更新しない疾患がある場合は、二重線(赤字)で削除してください。
- 5 現在認定されている特例に■を印字しています。特例の該当の有無について、あてはまる□にチェックしてください。
- 6 ★ご注意ください！
記入もれが多い箇所です
該当する項目を○で囲み、受給者番号等を記入してください。
- 7 ★ご注意ください！
記入もれが多い箇所です
申請日は書類提出日を記入してください。
申請者の「住所」、「氏名」を必ず記入してください。

保健 所 記 入 欄	指定難病の治療研究等の基礎資料としての利用について、同意いただける場合は記入してください。	額(所得割)	自己負担 に関する	月額自己 限度額	円
	加入医療保険 変更の有無	有 ・ 無	送付先 の有無	有 ・ 無	特記事項

【注記】
・印字内容は有効期間満了日の6か月前時点の情報です。
記載内容に変更等があれば、ボールペンで線を引いて訂正をしてください。

個人番号の提供にあたり、DV・虐待を受けて避難されている方で所在地情報の秘匿を希望される方は、枠内に「所在地情報の秘匿希望」と記入してください。

申請書記入例(うら)

○注意事項

- (1)人工呼吸器等装着
継続して常時、生命維持管理装置を装着する必要がある、かつ、日常生活動作が著しく制限されている者であること。
生命維持装置のうち、人工呼吸器を装着している者について、継続して常時とは、医学的に一日中施行することが必要であって離脱の可能性がないことをいう。
- (2)高額な医療が長期的に継続する患者の特例(「高額難病治療継続者」)
高額な医療が長期的に継続する患者とは、月ごとの該当する医療費総額が5万円を超える月が年間6回以上ある者であること。
- (3)高額な医療を継続することが必要な軽症者の特例(「軽症者特例」)
指定難病の症状の程度が特定医療費の支給の対象とならない軽症者であっても、当該指定難病に係る医療費の総額が月額33,130円を超える月が年間3回以上ある者で、当該医療を継続する必要があるものについては、特定医療費の支給の対象となる場合があります。
- 上記の特例については医師による証明等、病院等の証明等の書類を添付してください。

○加入医療保険に関する事項

支給認定基準世帯員(患者と同じ医療保険に加入する者)

世帯員氏名	滋賀 花子	個人番号	*****	患者との続柄	8 配偶者
世帯員氏名	滋賀 三郎	個人番号	oooooooooooo	患者との続柄	子
世帯員氏名		個人番号		患者との続柄	
世帯員氏名		個人番号		患者との続柄	
世帯員氏名		個人番号		患者との続柄	

8

★ご注意ください！
記入もれが多い箇所です

患者(受診者)と同じ医療保険に加入している方全員をもちろん記入してください。
なお、患者本人が被用者保険に加入している場合は、被保険者のみで結構です。

印字されている方で、別の医療保険に加入されている方は、線を引いて削除してください。同じ医療保険に加入されている方が増えた場合は、空欄に記入をしてください。

※個人番号(マイナンバー)は、「*」の印字のない方は、原則、全員の記入をお願いしております。新たに追加された方は記入してください。なお、患者本人が被用者保険に加入している場合は、被保険者のみで結構です。被保険者および患者本人以外の扶養家族の個人番号は登録不要です。

なお、個人番号(マイナンバー)を登録されると、原則、課税証明書の提

○指定医療機関に関する事項

受診を希望する指定医療機関等

受診を希望する指定医療機関	医療機関等名	所在地
	県庁病院	大津市京町四丁目1-1
	※臨床調査個人票を記載した医療機関等(1カ所)を記載してください。 ※令和6年度以降に発送する受給者証には、「個別の医療機関」ではなく、「難病法に基づき指定された指定医療機関(病院、診療所、薬局、訪問看護事業所等)」と記載します。そのため、「難病法に基づき指定された指定医療機関」であれば、受診を希望する指定医療機関の追加や変更の申請をしなくても、助成対象として受診できるようになります。医療機関が「難病法に基づき指定医療機関の指定」を受けているかどうかは、各都道府県・指定都市のHPにおいてご確認ください。	

9

9

受診を希望する指定医療機関(基本的には臨床調査個人票を記載した医療機関)を記載してください。

【受診者の住所地以外に郵便物等の送付を希望される場合は、下欄に送付先を記入してください】

送付先住所	〒	10
氏名	本人との関係()	
	電話()	

10

「受診者(患者)」の住所と異なる送付先に新しい受給者証の送付を希望される場合は、こちらに記入をしてください。

なお、申請者の電話番号に連絡が取れない場合は、こちらの番号に電話をすることがありますのでご了承ください。

記入方法についてのお問い合わせ先は、「滋賀県 受給者証更新コールセンター」まで

077-528-3669 (月～金(祝日除く)) 午前9:00～午後5:00